

第三次国有林野施業実施計画書

(十勝森林計画区)

計画期間

平成21年	4月	1日
平成26年	3月	31日

策定年月日：平成21年3月30日

北海道森林管理局

1 目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別区域	1
2	施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源かん養タイプにおける施業群別の面積等	1
	(3) 水土保持林の水源かん養タイプにおける施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 資源の循環利用林の生産群別の面積	2
	(5) 資源の循環利用林の生産群別の標準伐採量	2
	(6) 伐採総量	3
	(7) 更新総量	4
	(8) 保育総量	4
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	9
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	12
	(1) 保護林の名称及び区域	12
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	14
6	レクリエーションの森の名称及び区域	15
7	その他必要な事項	18
	(1) 施業指標林、試験地等	18
	(2) フィールドの提供	21

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別区域

三機能類型の配置については、国有林野施業実施計画図（別添1）による。

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿（別添2）による。

(2) 水源かん養タイプにおける施業群別の面積等

(単位：ha)

区 分	面 積	取 扱 い の 内 容	伐 期 齢 又 は 回 帰 年	
			樹 種	
単 層 林 施 業 群	10,325	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
			カラマツ ・グイマツ	50年
			その他針葉樹	60年
長 期 単 層 林 施 業 群	8,628	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
			カラマツ ・グイマツ	80年
			その他針葉樹	90年
複 層 林 施 業 群	5,117	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期120年
			カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混 交 林 施 業 群	26,563	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林施業】	15年	
育 成 天 然 林 施 業 群	106,845	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林施業】		
天 然 生 林 施 業 群	75,350	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林施業】		
計	232,829			

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入のため、必ずしも一致しない(以下の表についても同じ)。

(3) 水土保持林の水源かん養タイプにおける施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林
上限伐採面積	822	424	986	8,854	35,615	25,117

(4) 資源の循環利用林の生産群別の面積

(単位：ha)

区分	面積	生産目標等			伐期齢 又は 回帰年
		利用形態	樹種	目標径級	
単層林 生産群	1,273	一般材	トドマツ	22～38	65
			アカエゾマツ・エゾマツ	22～38	80
			カラマツ・グイマツ	22～38	50
			その他針葉樹	22～38	60
長期単層林 生産群	752	一般材	トドマツ	40～	100
			アカエゾマツ・エゾマツ	40～	120
			カラマツ・グイマツ	40～	80
			その他針葉樹	40～	90
複層林 生産群	85	一般材	トドマツ	22～38	100
			アカエゾマツ・エゾマツ	22～38	120
			カラマツ・グイマツ	22～38	80
			その他針葉樹	22～38	90
混交林 生産群	675	一般材	トドマツ	22～38	65
			アカエゾマツ・エゾマツ	22～38	80
			カラマツ・グイマツ	22～38	50
			その他針葉樹	22～38	60
育成天然林 生産群	958	一般材	トドマツ	22～38	15年
			アカエゾマツ・エゾマツ	22～38	
			カラマツ・グイマツ	22～38	
			その他針葉樹	22～38	
			ナラ・ウダイカバ・ダケカンバ・コレ・カ ラ・シラ・セン・ヤチダモ	46～	
			クミ・アサダ・ホオ・キハダ・イヤ	36～	
			サクラ類・シラカンバ・ハン・ド ロ	24～	
			エンジュ・アオダモ	16～	
天然生林 生産群	1,777	一般材	トドマツ	22～38	
			アカエゾマツ・エゾマツ	22～38	
			カラマツ・グイマツ	22～38	
			その他針葉樹	22～38	
			ナラ・ウダイカバ・ダケカンバ・コレ・カ ラ・シラ・セン・ヤチダモ	46～	
			クミ・アサダ・ホオ・キハダ・イヤ	36～	
			サクラ類・シラカンバ・ハン・ド ロ	24～	
			エンジュ・アオダモ	16～	
計	5,520				

注) 印は、「上木最終伐採林齢」、 印は、「択伐を開始する林齢」である。

(5) 資源の循環利用林の生産群別の標準伐採量

各生産群の面積が少ないことから、標準伐採量は定めない。

(6) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分		林			地		林 地 以 外	合 計	
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計			
水 土 保 全 林	国土保全タイプ	5,627	(2,120) 97,113	102,740	40,200	915,847	-	915,847	
	水源かん養タイプ	単層林	523	(3,626) 161,986					162,509
		長期単層林		(2,783) 131,506					131,506
		複層林	28,022	(985) 41,425					69,447
		混交林	3,218	(6,190) 294,197					297,415
		育成天然林	88,899	(414) 13,935					102,834
		天然生林	159	(16) 287					446
		小計	120,821	(14,014) 643,336					764,157
計	126,448	(16,135) 740,449	866,897						
森 林 と 人 と の 共 生 林	自然維持タイプ		(74) 2,877	2,877					
	森林空間利用タイプ		(126) 5,873	5,873					
	計		(200) 8,750	8,750					
資 源 の 循 環 利 用 林	単層林	4,208	(241) 9,206	13,414					
	長期単層林	66	(173) 7,029	7,095					
	複層林		(29) 2,690	2,690					
	混交林	2,275	(39) 750	3,025					
	育成天然林								
	天然生林								
	計	6,549	(482) 19,675	26,224					
合 計	132,997	(16,816) 768,874	901,871	41,400	943,271	-	943,271		
年 平 均	26,599	(3,363) 153,775	180,374	8,280	188,654	-	188,654		

注) 上段()は、間伐面積である。

(7) 更新総量

(単位：ha)

区 分		水 土 保 全 林			森 林 と 人 と の 共 生 林			資源の 循環 利用林	合 計
		国土保全 タイプ	水源かん養 タイプ	計	自然維持 タイプ	森林空間利用 タイプ	計		
人 工 造 林	単層林造成		319	319				77	396
	複層林造成	103	672	776				32	807
	計	103	991	1,094				109	1,203
天 然 更 新	天然下種第1類	1	780	782		41	41	42	865
	天然下種第2類		2,602	2,602				72	2,674
	ぼう芽更新								
	計	1	3,382	3,383		41	41	114	3,538
合 計		105	4,373	4,478		41	41	222	4,741

(8) 保育総量

(単位：ha)

区 分		水 土 保 全 林			森 林 と 人 と の 共 生 林			資源の 循環 利用林	合 計
		国土保全 タイプ	水源かん養 タイプ	計	自然維持 タイプ	森林空間利用 タイプ	計		
保 育	下刈	696	10,344	11,040	249	197	446	250	11,736
	つる切り	387	3,435	3,822	214	100	314	160	4,296
	除伐	258	2,290	2,548	143	66	209	107	2,864

3 林道の整備に関する事項

基幹・その他別	開設・改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数(改良)	備考
十勝東部森林管理署						
その他	開設	盃の沢	37,39	1,300		足寄町、作業道格上
		エスキナイ	42	1,700		足寄町、作業道格上
		吉野沢	112,119	3,600		足寄町、作業道格上
		稲牛第1横断	146,148	1,500		足寄町、作業道格上
		上稲牛一点沢	157	1,000		足寄町、作業道格上
		ポンクンベツ支線	1005	1,600		陸別町、作業道格上
		入の沢	1123,1124	2,800		陸別町、作業道格上
		勳祢別連絡	1126,1128,1129	2,800		陸別町、作業道格上
		勳祢別横断	1133,1144	3,100		陸別町、作業道格上
		太辛第6支線	1139,1142	2,000		陸別町、作業道格上
		1174林班	1174	2,200		陸別町、作業道格上
			計	11 路線		23,600
基幹	改良	モップの沢	210,211	500	2	本別町、路体強化、溝渠工
		本別沢	223,224,229	1,000	3	本別町、路体強化、溝渠工
		クオベツ	34,35	500	2	足寄町、路体強化
		ハヤトの沢	78,80,81	1,000	3	足寄町、路体強化、溝渠工
		31線沢	87,88	1,000	3	足寄町、路体強化、溝渠工
		35線沢	90~92	1,000	3	足寄町、路体強化、溝渠工
		39線沢	96,97,100	1,000	3	足寄町、路体強化、溝渠工
		上足寄	108,110,111	1,000	3	足寄町、路体強化、溝渠工
		風達幹線	115~119	1,500	5	足寄町、路体強化、溝渠工
		ボン稲牛	153	500	2	足寄町、路体強化、溝渠工
		芽登川	306,310	500	2	足寄町、路体強化、溝渠工
		糠南	322,324,340	1,200	4	足寄町、路体強化、溝渠工
		ヌプリパオマナイ	330,337	500	2	足寄町、路体強化、溝渠工
		幌加美利別	393,398,407	2,000	5	足寄町、路体強化、橋梁架替
		チセウエンベツ	399,401	500	2	足寄町、路体強化、溝渠工
		ウエンベツ	423,425	500	2	足寄町、路体強化、溝渠工
		ウエンベツ茂喜登牛	429,430	500	2	足寄町、路体強化、溝渠工
		上陸別	1036	500	2	陸別町、路体強化、溝渠工
		取布朱	1040,1042	500	2	陸別町、路体強化、溝渠工
		鹿山川上	1102	1,000	3	陸別町、路体強化、溝渠工
	計	20 路線		16,700	55	
その他	改良	パンケ仙美里支線	231,241	500	2	本別町、法面保護、路体強化
		奥仙美里	232	500	2	本別町、法面保護、溝渠工
		233林班	233	500	2	本別町、路体強化、溝渠工
		上稲牛二股	4	500	2	足寄町、路体強化、排水施設
		本別沢第3支線	8	500	2	足寄町、路体強化、溝渠工
		幌内	9,10	500	2	足寄町、路体強化、溝渠工
		フーチャシナイ	13,15	1,000	3	足寄町、路体強化、溝渠工
		天幕の沢	20	500	2	足寄町、路体強化、排水施設
		クオナイ	44,45	500	2	足寄町、路体強化、溝渠工
		上足寄苗畑	61	500	2	足寄町、法面保護、路体強化
		31線1の沢	84	300	1	足寄町、路体強化、排水施設
		9線沢	123	1,000	3	足寄町、路体強化、溝渠工
		小原の沢	124,125	500	2	足寄町、路体強化、溝渠工

基幹・その他別	開設・改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数(改良)	備考
その他	改良	寺の沢	127,128	1,000	3	足寄町、路体強化、溝渠工
		風達第1支線	135,136	500	2	足寄町、路体強化、溝渠工
		歩道の沢	148,149	500	2	足寄町、路体強化、排水施設
		菅野の沢	154,155	500	2	足寄町、路体強化、排水施設
		芽登糠南	307,321	500	2	足寄町、路体強化、溝渠工
		71点沢	399,400	500	2	足寄町、路体強化、溝渠工
		登良里	1002,1003	500	2	陸別町、路体強化、溝渠工
		ポンクンベツ	1005,1006	500	2	陸別町、路体強化、排水施設
		5の沢	1010	500	2	陸別町、路体強化、溝渠工
		奥村の沢	1013,1014	500	2	陸別町、路体強化、排水施設
		九哩の沢	1062	500	2	陸別町、路体強化、溝渠工
	計	24 路線		13,300	50	
十勝東部森林管理署合計						
開設	その他	11 路線		23,600		
	計	11 路線		23,600		
改良	基幹	20 路線		16,700	55	
	その他	24 路線		13,300	50	
	計	44 路線		30,000	105	
十勝西部森林管理署						
基幹	開設	元更別	379	1,000		中札内村
		幸栄	2078~2082	3,000		大樹町、作業道格上
	計	2 路線		4,000		
その他	開設	左の沢	316	3,000		帯広市、作業道格上
		広田の沢支線	339	1,500		帯広市、作業道格上
		志賀の沢	250	2,500		芽室町、作業道格上
		上美生3の沢	268	1,000		芽室町、作業道格上
		雄馬別	282~283	4,000		芽室町、作業道格上
		ヌーナイ沢支線	345	1,000		中札内村、作業道格上
		ヌーナイ沢	346	1,500		中札内村、作業道格上
		熊の沢連絡	2001	2,500		大樹町、作業道格上
		熊の沢	2004	2,000		大樹町、作業道格上
		雨竜の沢	2012~2013	4,000		大樹町、作業道格上
		下豊似左岸	1035	2,000		広尾町、作業道格上
		下豊似連絡線	1045~1046	2,500		広尾町、作業道格上
		野中	1053~1054	1,000		広尾町、作業道格上
		西広尾連絡	1093	1,500		広尾町、作業道格上
		万岩山	1125~1126	2,000		広尾町、作業道格上
		音調津支線	1136	2,000		広尾町、作業道格上
	計	16 路線		34,000		
基幹	改良	戸蔦別川	289~310	1,000	2	帯広市、路体強化、護岸工
		北清水線	14~15	800	2	清水町、路体強化
		石山北清水	15~25	1,500	2	清水町、路体強化、溝渠工
		石山	27	1,000	3	清水町、路体強化、橋梁改良
		上美生2の沢	252~254	1,000	2	芽室町、路体強化、溝渠工
		上美生4の沢	255~257	500	1	芽室町、路体強化
		ペンケナイ	276~282	1,000	2	芽室町、路体強化、溝渠工
		元更別	379~380	800	2	中札内村、路体強化、溝渠工
		歴船川本流	2012,2014,2033~2035	3,000	4	大樹町、路体強化、護岸工、溝渠工

基幹・その他別	開設・改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数(改良)	備考
基幹	改良	相川	2052~2054	1,000	2	大樹町、路体強化、護岸工
		中の川	2054~2061	2,500	3	大樹町、路体強化、護岸工、溝渠工
		パンケボロナイ	2086~2090	600	2	大樹町、路体強化
		昭徳	2098,2108,2109	800	2	大樹町、路体強化、護岸工、溝渠工
		紋別川	2133~2134,2136~2137	2,000	3	大樹町、路体強化、溝渠工
		紋別昭徳連絡	2134~2135	1,000	2	大樹町、路体強化
		紋別川連絡	2142	1,500	3	大樹町、路体強化
		パンケハヤニ	1002~1003,1010	1,000	2	広尾町、路体強化、護岸工、溝渠工
		ペンケアイアン	1011~1012	600	2	広尾町、路体強化、溝渠工
		下豊似左岸	1034~1035	1,500	3	広尾町、路体強化、溝渠工
		花春内	1049~1051	1,200	3	広尾町、路体強化、護岸工、溝渠工
		東広尾川	1109,1113	1,000	3	広尾町、路体強化、溝渠工
		計	23 路線		25,300	50
その他	改良	岩内越	314	800	2	帯広市、路体強化、溝渠工
		左の沢	316	1,500	5	帯広市、法面工
		鉄砲の沢	322	1,000	3	帯広市、路体強化、溝渠工
		広田の沢	338~339	600	2	帯広市、路体強化、溝渠工
		上美生6の沢	260	500	1	芽室町、路体強化
		滝の沢	280	1,000	2	芽室町、路体強化、溝渠工
		深沢	280~281	1,000	2	芽室町、路体強化、溝渠工
		ペンケオトシノオマナイ	347	1,000	3	中札内村、路体強化、護岸工
		熊の沢	2003~2004	1,000	2	大樹町、路体強化
		ひょうたん連絡右岸	2009	1,000	3	大樹町、路体強化、溝渠工
		相川支線	2052	500	2	大樹町、路体強化
		左の沢	2058	1,000	3	大樹町、路体強化、溝渠工
		函の沢支線	2060	500	2	大樹町、路体強化
		住吉	2081~2083	600	2	大樹町、路体強化、護岸工、溝渠工
		住吉2の沢	2082	1,000	2	大樹町、路体強化、護岸工、溝渠工
		ペンケナイ	2117~2118,2121~2122	2,000	4	大樹町、路体強化、護岸工
		パンケナイ	2123~2125	1,500	4	大樹町、路体強化、護岸工、溝渠工
		光地園連絡	2130	600	2	大樹町、路体強化、溝渠工
		館山	2130	800	3	大樹町、路体強化、溝渠工
		野中	1052~1053	1,500	3	広尾町、路体強化、溝渠工、ネット工
音調津支線	1128	1,000	3	広尾町、路体強化、溝渠工		
計	21 路線		20,400	55		
十勝西部森林管理署合計						
開設	基幹	2 路線		4,000		
	その他	16 路線		34,000		
	計	18 路線		38,000		
改良	基幹	23 路線		25,300	50	
	その他	21 路線		20,400	55	
	計	44 路線		45,700	105	
十勝西部森林管理署東大雪支署						
基幹	開設	佐幌2の沢	1014,1015	5,000		新得町、作業道格上
	計	1 路線		5,000		
その他	開設	清水谷	32	1,600		上士幌町、作業道格上
		サラツキ支線	2101,1333	2,000		鹿追町、作業道格上
		ペンケニコロ滝上	1020,1028	1,300		新得町、作業道格上

基幹・その他別	開設・改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数(改良)	備考
その他	開設	ペンケニコロ第1分線	1038~1039	5,200		新得町、作業道格上
		ペンケニコロ第2支線	1058~1060,1066	4,500		新得町、作業道格上
		屈足オソウシ当別分線	1313,1319,1320	4,900		新得町、作業道格上
		屈足オソウシ当別	1317~1319	3,500		新得町、作業道格上
	計	7路線		23,000		
基幹	改良	メトセツ	63	1,000	1	上土幌町、法面保護
		音更川本流	104,111	1,500	2	上土幌町、路体強化、排水施設
		糠平三股	141,143	2,000	2	上土幌町、法面保護、排水施設
		九の沢	164	1,000	1	上土幌町、路体強化、法面保護
		ユーヤンベツ	2156	500	1	鹿追町、路体強化、法面保護
		パンケニコロベツ1の沢	1035	100	1	新得町、排水施設
		パンケキナウシ	1085	100	1	新得町、橋梁架替
		近別	1114,1115	2,000	2	新得町、法面保護
		ユートムラウシ	1188	100	1	新得町、排水施設
		ヌプトムラウシ	1221	500	2	新得町、路体強化、法面保護
		佐幌循環	2075	200	1	新得町、法面保護
	計	11路線		9,000	15	
その他	改良	黒石平	34	700	1	上土幌町、路体強化、法面保護
		糠平迂回	45	2,000	2	上土幌町、路体強化、法面保護
		55メトセツ	59	2,000	1	上土幌町、路体強化、法面保護
		幌加大曲	87,88	2,000	3	上土幌町、路体強化、法面保護
		ポンサラウンナイ	2104	1,000	1	鹿追町、路体強化、法面保護
		ペンケキナウシ	1098	1,000	1	新得町、路体強化、法面保護
		近別第3支線	1129	100	1	新得町、橋梁架替
		ホロカトカチ	1147	200	2	新得町、路体強化、法面保護
計	8路線		9,000	12		
十勝西部森林管理署東大雪支署合計						
開設	基幹	1路線		5,000		
	その他	7路線		23,000		
	計	8路線		28,000		
改良	基幹	11路線		9,000	15	
	その他	8路線		9,000	12	
	計	19路線		18,000	27	
森林計画区合計						
開設	基幹	3路線		9,000		
	その他	34路線		80,600		
	計	37路線		89,600		
改良	基幹	54路線		51,000	120	
	その他	53路線		42,700	117	
	計	107路線		93,700	237	

4 治山に関する事項

位 置	区 分	工 種	計 画 量	備 考
十勝東部森林管理署				
4林班	保全施設	溪間工	1箇所	足寄町
12林班	"	"	1箇所	"
13林班	"	"	1箇所	"
56林班	"	"	1箇所	"
76林班	"	"	2箇所	"
144林班	"	"	1箇所	"
147林班	"	"	1箇所	"
205林班	"	"	1箇所	本別町
210林班	"	"	1箇所	"
213林班	"	"	2箇所	"
228林班	"	"	1箇所	"
229林班	"	"	1箇所	"
230林班	"	"	1箇所	"
331林班	"	"	1箇所	足寄町
352林班	"	"	1箇所	"
363林班	"	"	5箇所	"
1040林班	"	"	2箇所	陸別町
147林班	"	山腹工	1箇所	足寄町
209林班	"	"	1箇所	本別町
十勝東部森林管理署計	保全施設	溪間工	24箇所	
		山腹工	2箇所	
		計	26箇所	
十勝西部森林管理署				
252林班	保全施設	溪間工	1箇所	芽室町
310林班	"	"	1箇所	帯広市
319林班	"	"	1箇所	"
351林班	"	"	1箇所	中札内村
370,371林班	"	"	1箇所	"
372林班	"	"	1箇所	"
373林班	"	"	1箇所	"
378林班	"	"	1箇所	"
1009林班	"	"	1箇所	広尾町
1016林班	"	"	1箇所	"
1068林班	"	"	1箇所	"
1095林班	"	"	1箇所	"
1142林班	"	"	1箇所	"
2006林班	"	"	1箇所	大樹町
2049林班	"	"	1箇所	"
2050林班	"	"	1箇所	"
2063林班	"	"	1箇所	"
2079林班	"	"	1箇所	"
2080林班	"	"	1箇所	"
2093林班	"	"	1箇所	"

位 置	区 分	工 種	計 画 量	備 考
十勝西部森林管理署				
2115林班	"	"	2 箇所	"
2117林班	"	"	1 箇所	"
2121林班	"	"	1 箇所	"
370,371林班	"	山 腹 工	1 箇所	中札内村
1016林班	"	"	1 箇所	広尾町
1143林班	"	"	1 箇所	"
2053林班	"	"	1 箇所	大樹町
2117林班	"	"	1 箇所	"
2122林班	"	"	1 箇所	"
1144林班	保安林の整備	植 栽 工	2 h a	広尾町
254林班	"	本数調整伐	3 h a	芽室町
255林班	"	"	6 h a	"
270林班	"	"	7 h a	"
271林班	"	"	14 h a	"
272林班	"	"	11 h a	"
275林班	"	"	23 h a	"
280林班	"	"	6 h a	"
312林班	"	"	7 h a	帯広市
1002林班	"	"	21 h a	広尾町
1026林班	"	"	4 h a	"
1095林班	"	"	20 h a	"
1128林班	"	"	16 h a	"
2002林班	"	"	12 h a	大樹町
2004林班	"	"	9 h a	"
2082林班	"	"	4 h a	"
2091林班	"	"	6 h a	"
2118林班	"	"	6 h a	"
2120林班	"	"	4 h a	"
2130林班	"	"	10 h a	"
2134林班	"	"	11 h a	"
十 勝 西 部 森 林 管 理 署 計	保 全 施 設	溪 間 工	24 箇所	
		山 腹 工	6 箇所	
		計	30 箇所	
	保 安 林 の 整 備	植 栽 工	2 h a	
		本数調整伐	200 h a	
計		202 h a		
十勝西部森林管理署東大雪支署				
74,75林班	保 全 施 設	溪 間 工	1 箇所	上士幌町
87林班	"	"	1 箇所	"
88,89林班	"	"	1 箇所	"
148林班	"	"	1 箇所	"
151林班	"	"	2 箇所	"
1291林班	"	"	1 箇所	新得町
2007林班	"	"	2 箇所	"

位 置	区 分	工 種	計 画 量	備 考
十勝西部森林管理署東大雪支署				
2067林班	〃	〃	2 箇所	〃
2072林班	〃	〃	2 箇所	〃
2146林班	〃	〃	1 箇所	鹿追町
2174林班	〃	〃	1 箇所	〃
2142林班	〃	山 腹 工	1 箇所	鹿追町
134林班	保安林の整備	植 栽 工	2 h a	上土幌町
十勝西部森林管理署東大雪支署計	保 全 施 設	溪 間 工	15 箇所	
		山 腹 工	1 箇所	
		計	16 箇所	
	保安林の整備	植 栽 工	2 h a	
		計	2 h a	
森 林 計 画 区 合 計	保 全 施 設	溪 間 工	63 箇所	
		山 腹 工	9 箇所	
		計	72 箇所	
	保安林の整備	植 栽 工	4 h a	
		本数調整伐	200 h a	
		計	204 h a	

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

(単位：ha)

種類	名称	新設・既設	面積	位置 (林小班)	特徴等
森林生態系保護地域	十勝西部森林管理署				
	日高山脈中央部森林生態系保護地域	H7 既設	31,398.55	別表参照	日高山脈中央部の原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資する。
	(保存地区)		19,841.54		
	(保全利用地区)		11,557.01		
	森林計画区計	1箇所	31,398.55		
林木遺産資源保存林	十勝東部森林管理署				
	帯広ミズナラ24	既設	9.05	303 ね	森林生態系に係わる主要林業樹種及び希少樹種などの生物遺伝資源を自然生態系内に広範に保存する
	帯広モンゴリナラ25	既設	5.11	206 い	
	帯広アサダ26	既設	21.15	215 に	
	帯広ヤチダモ27	既設	1.21	91 け1	
	帯広コオノオレ28	既設	8.08	10 い	
	帯広ハリギリ29	既設	9.30	1158 ほ1	
	帯広イヌエンジュ30	既設	5.00	1070 は	
	十勝西部森林管理署				
	帯広ミズナラ16	既設	1.96	2002 わ	森林生態系に係わる主要林業樹種及び希少樹種などの生物遺伝資源を自然生態系内に広範に保存する
	帯広カシワ17	既設	5.11	2053 い	
	帯広ダケカンバ18	既設	3.95	1108 り	
	帯広ミズナラ19	既設	5.80	1121 く	
帯広トドマツ20	既設	5.48	1137 い		
帯広イタヤカエデ21	既設	9.38	1145 ほ		

(単位：ha)

種類	名称	新設・既設	面積	位置 (林小班)	特徴等
林木 遺 伝 資 源 保 存 林	十勝西部森林管理署東大雪支署				
	帯広シラカンバ22	既設	4.80	57 ち	森林生態系に係わる主要林業樹種及び希少樹種などの生物遺伝資源を自然生態系内に広範に保存する
	帯広ケヤマハンノキ23	既設	7.62	61 に 62 ほ	
	帯広ミズナラ12	既設	2.14	1331 そ1	
	帯広シナノキ13	既設	14.93	1077 い	
	帯広エゾマツ14	既設	10.25	1181 い	
	帯広トドマツ15	既設	14.05	2110 い	
	森林計画区計	19箇所	144.37		
植 物 群 落 保 護 林	十勝西部森林管理署東大雪支署				
	喜登牛植物群落 保護林	H16既設	184.96	別表 参照	北海道の希少野生動植物に指定されており、十勝北部内陸に生息する当該種は、他地域のものとは遺伝的に異なるため、遺伝子の多様性の観点から個体及び生息地の保護を図る。
	十勝西部森林管理署東大雪支署				
	ゴヨウマツ天然生 保護林	H2既設	1.35	1293 い	ゴヨウマツの分布限界地(東北限)として貴重である
			1.35	1297 い	
		計	2.70		
	トドマツ、エゾマツ 原生保護林	H2既設	1,035.12	別表 参照	十勝川源流に位置し、学術上貴重な原生林であり、原生自然環境保全地域にも指定されている
	大雪山原生保護林	H2既設	9,659.70	別表 参照	十勝川源流地域(トドマツ、エゾマツ原生林)に連続し、いまだに原生のまま動植物が生育、生存しており、そこに所在する山岳、植物、鉱物あるいは動物等を含めて学術上貴重な地域として天然記念物に指定されている
	東ヌプカウシ コマクサ保護林	H2既設	14.69	2180 い	我が国におけるコマクサ生育地は、高山帯に限られているというのが定説であり、本箇所のようにダケカンバ林の垂高山帯まえ下降する例は珍しく、コマクサの垂直分布のみならず、地史的分布を考える上で当群落の存在は非常に貴重なものである
	森林計画区計	5箇所	10,897.17		

(単位：ha)

種類	名称	新設・既設	面積	位置 (林小班)	特徴等
特定動物生息地保護林	十勝東部森林管理署				
	シマフクロウ生息地保護林	H7既設	1,290.31	非公開	シマフクロウの繁殖地、生息地等の保護を図り学術研究等に資する
		H16既設	1,173.62	非公開	
	十勝西部森林管理署東大雪支署				
	シマフクロウ生息地保護林	H11既設	693.23	非公開	シマフクロウの繁殖地、生息地等の保護を図り学術研究等に資する
森林計画区計	3箇所	3,157.16			
特定地理等保護林	十勝東部森林管理署				
	マンガン鉱床保護林	H16既設	4.27	55 に ト ト1 又	地上でマンガンが形成される世界的にも貴重な箇所、平成12年には国の天然記念物にも指定されている。特異な地形・地質等の保護を図り、学術研究に資する
			0.43		
			0.42		
			0.01		
計	5.13				
森林計画区計	1箇所	5.13			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

(単位：ha)

種類	名称	新設・既設	面積	位置 (林小班)	特徴等
緑の回廊	大雪・日高緑の回廊	既設	十勝西部森林管理署		野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促すため、大雪山忠別川源流部森林生態系保護地域等と日高山脈中央部森林生態系保護地域を結ぶ緑の回廊である。
			4,613.37	別表参照	
			十勝西部森林管理署東大雪支署		
			6,061.90	別表参照	
	計		10,675.27		
	森林計画区計	1箇所	10,675.27		

6 レクリエーションの森の名称及び区域

(単位：ha)

種類	名称	新設・既設	面積	位置 (林小班)	選 定 理 由	備 考	
自然 休 養 林	十勝東部森林管理署						
	雌阿寒オンネトー * (森林スポーツゾーン) (風景ゾーン) * (風致探勝ゾーン)	既設	12.66 606.92 597.66	別表 参照	自然探勝、キャンプ、温泉浴 及び森林と山岳との自然景観 の利用に供するため	「*」は、保 健機能森林 に該当する 森林	
	小 計		1,217.24				
	十勝西部森林管理署東大雪支署						
	トムラウシ自然休養林 (森林スポーツゾーン) (風景ゾーン) * (風致探勝ゾーン)	既設	60.36 1,019.32 175.40	別表 参照	自然探勝、キャンプ、温泉浴 及び森林と山岳との原始的な 自然景観の利用に供するため	「*」は、保 健機能森林 に該当する 森林	
	小 計		1,255.08				
	然別 * (森林スポーツゾーン) (風景ゾーン) * (風致探勝ゾーン)	既設	6.97 1,691.14 238.57	別表 参照	自然探勝、キャンプ、温泉浴 及び森林と湖水との自然景観 の利用に供するため	「*」は、保 健機能森林 に該当する 森林	
	小 計		1,936.68				
	森 林 計 画 区 計	3箇所	4,409.00				
	自然 観 察 教 育 林	十勝西部森林管理署					
国見山		既設	65.67	別表 参照	帯広市の近郊林で外国樹種 の人工林と天然林が織りなす 優れた景観を自然観察、教育 の場としての利用に供するた め	保健機能森 林に該当す る森林	
カムイコタン		既設	223.16	別表 参照	溪流、溪谷の特異な地形と森 林が織りなす自然景観に恵ま れ、鳥類も多く自然観察、教 育の場としての利用に供する ため	保健機能森 林に該当す る森林	
森 林 計 画 区 計		2箇所	288.83				
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	十勝西部森林管理署東大雪支署						
	ぬかびら温泉	既設	329.12	別表 参照	温泉、湖、山岳、森林等の資 源を有しており、登山、ス キー等、四季を通じたレクリ エーションの場としての利用 に供するため		
	佐幌岳	既設	488.38	別表 参照	山岳、森林、河川等、四季 折々の自然美を有し、自然探 勝、登山、スキー等、四季を 通じたレクリエーションの場 としての利用に供するため		
	森 林 計 画 区 計	2箇所	817.50				

(単位：ha)

種類	名称	新設・既設	面積	位置 (林小班)	選定理由	備考
風	十勝東部森林管理署					
	義経山	既設	458.54	別表参照	町の背景林として、特異な地形と森林景観を有する市街近郊林の維持・造成を図るため	
	宮の森	既設	84.69	別表参照	町の背景林として、森林の自然美を有する市街近郊林の維持・造成を図るため	
	雌阿寒	既設	2,240.76	別表参照	オンネトーの背景林として、雌阿寒の優れた自然景観の維持・造成を図るため	
	十勝西部森林管理署					
	えりも風景林	既設	207.79	別表参照	太平洋沿岸の断崖絶壁の景勝地域の維持・造成を図るとともに国民の利用に供するため	
	ピョウタンの滝風景林	既設	195.76	別表参照	渓谷、溪流と森林美が織りなす優れた景観の維持・造成を図るとともに国民の利用に供するため	
	伏見仙峡風景林	既設	19.52	別表参照	渓谷、溪流と森林美が織りなす優れた景観の維持・造成を図るとともに国民の利用に供するため	
	日勝風景林	既設	776.09	別表参照	遠景林として、山岳と森林、動植物等の自然資源を有する森林の維持・造成を図るため	
	景	十勝西部森林管理署東大雪支署				
十勝ダム風景林		既設	1,566.01	別表参照	人造湖(十勝ダム)の背景林として、人工林と天然林が織りなす優れた自然景観の維持・造成を図るため	
然別湖風景林		既設	3,293.87	別表参照	然別自然休養林の背景林として、然別湖を核とした優れた自然景観の維持・造成をはかるため	
ウペサンケ風景林		既設	1,774.48	別表参照	遠景林として、大雪山系の山岳と天然林が織りなす四季折々の自然美の景観の維持・造成を図るため	
佐幌岳風景林		既設	470.56	別表参照	近景林として、スキー場、保養施設を核とした利用施設の維持・造成を図るため	

(単位：ha)

種類	名称	新設・既設	面積	位置 (林小班)	選定理由	備考
十勝西部森林管理署東大雪支署						
風景林	クマネシリ風景林	既設	965.10	別表参照	遠景林として、山岳と森林、動植物等の自然資源を有する森林の維持・造成を図るため	
	ニペソツ風景林	既設	1,789.07	別表参照	遠景林として、山岳と森林、動植物等の自然資源を有する森林の維持・造成を図るため	
	ぬかびら温泉風景林	既設	5,287.59	別表参照	近景林として、山岳、森林、湖等の自然資源を有する森林の維持・造成を図るため	
	森林計画区計	14箇所	19,129.83			
十勝西部森林管理署東大雪支署						
風致探勝林	佐幌岳風致探勝林	既設	48.71	別表参照	佐幌岳からの展望、自然探勝、散策等の場として国民の利用に供するため	保健機能森林に該当する森林
	然別峡風致探勝林	既設	252.39	別表参照	山岳、森林、溪流等の自然景観に恵まれ、登山、自然探勝、温泉浴等の場として、国民の利用に供するため	保健機能森林に該当する森林
	ほろか温泉風致探勝林	既設	192.11	別表参照	森林、河川、山岳等四季折々の景観を有し、登山、自然探勝、温泉浴等の場として、国民の利用に供するため	保健機能森林に該当する森林
	森林計画区計	3箇所	493.21			
森林計画区合計		24箇所	25,138.37			

注) 備考欄の「保健機能森林に該当する森林」とは、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」に基づき、施設の整備を森林の施業と一体的かつ計画的に推進する森林のことを指す。

7 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位：ha)

種類	名称	設定年	面積	位置 (林小班)	備考	
遺 伝 子 保 存 林	十勝東部森林管理署					
	アカエゾマツ足寄102B	昭和50年	4.19	69 の	林木の優良な遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用することを目的に設定している	
	トドマツ上足寄	昭和52年	9.55	88 わ2		
	アカエゾマツ茂足寄	昭和50年	1.10	91 と		
	アカエゾマツ足寄56A	昭和50年	6.62	91 ち		
	アカエゾマツ足寄102C	昭和51年	2.64	91 よ		
	アカエゾマツ足寄56B	昭和50年	1.96	91 よ2		
	トドマツ仙美利	昭和48年	2.88	242 ほ1		
	アカエゾマツ本別A	昭和50年	4.17	242 ち1		
	アカエゾマツ本別B	昭和51年	1.28	243 た2		
	アカエゾマツ本別C	昭和51年	4.03	243 わ1		
	十勝西部森林管理署					
	ドロノキPS3	平成2年	0.29	1001 に1		
	十勝西部森林管理署東大雪支署					
クロエゾマツ新得	昭和50年	7.16	1043 と1			
トドマツ新得	平成2年	4.27	1060 ろ			
森林計画区計	13箇所	50.14				
検 定 林	十勝東部森林管理署					
	北適応帯4号(試植検定林)	昭和54年	1.50	106 ち	試植検定林は、外国からの導入樹種や在来品種の林分特性、立地適応性等を検定する林分である。 次代検定林は、親木の評価を目的に子供群を植栽し、親木間に現れる形質上の優劣差を検定する林分である	
	北帯3号(遺伝試験林)	昭和56年	1.02	131 く1		
	北帯7号(地域差検定林)	昭和63年	5.46	313 ろ1		
	北帯16号(地域差検定林)	平成4年	2.00	132 お2		
	北帯5号(一般次代検定林)	昭和60年	7.60	1031 の1		
			0.53	1031 の3		
	計		8.13			
	十勝西部森林管理署					
	北適応帯6号(試植検定林)	平成3年	0.50	1082 ろ2		
	北帯11号(地域差検定林)	昭和63年	5.50	2125 い1		
	十勝西部森林管理署東大雪支署					
	北適応帯1号(試植検定林)	昭和49年	1.98	2006 め		
	北適応帯7号(試植検定林)	平成2年	2.51	1180 ろ5		
0.15			1180 ろ7			
計		2.66				
北帯18号(地域差検定林)	平成4年	2.39	30 め1			
森林計画区計	12箇所	31.14				
施 業 指 標 林	十勝東部森林管理署					
	天然林(針広混交林) 施業指標林	平成5年	9.03	28 い1	積極的に推進すべき施業体系、新たに開発された技術等を適用している林分等で、その施業及び技術の普及を図るための指標とする林分である	
	トドマツ樹下植栽と複層林 施業指標林	平成5年	5.13	231 れ		
	十勝西部森林管理署					
	ミズナラ二次林 施業指標林	平成5年	14.11	1121 こ		
			2.00	1121 こ1		
			16.00	1121 こ2		
	計		32.11			
	十勝西部森林管理署東大雪支署					
	自然環境に配慮した 森林施業指標林	平成5年	71.58	2175 に	積極的に推進すべき施業体系、新たに開発された技術等を適用している林分等で、その施業及び技術の普及を図るための指標とする林分である	
森林計画区計	4箇所	117.85				

(単位：ha)

種類	名称	設定年	面積	位置 (林小班)	備考
展示林	十勝東部森林管理署				
	雌阿寒アカエゾマツ展示林	昭和45年	5.49	56 ろ	雌阿寒山麓にあるアカエゾマツ純林で、規模、林分内容から見て貴重なものであるため
	トドマツ苗展示林	昭和54年	7.18	1021 ち	精英樹系統種苗と従来種苗の成長差などを造林者等に展示し、育種、種苗の普及を図るため
	十勝西部森林管理署				
林	相川柏展示林	昭和50年	5.11	2053 い	カシワー斉林で、当森林計画区では貴重なものである
	森林計画区計	3箇所	17.78		
試験地	十勝東部森林管理署				
	天然林成長量固定試験地	昭和25年	1.38	37 い	成長量、枯死量及び林分構造の推移を把握検討し、地域管理経営計画樹立の基礎資料を収集するため
		昭和25年	3.19	38 い	
		昭和34年	3.61	224 い	
	足寄森林施業実験林	昭和25年	0.98	72 い	過熟天然林を生産性の高い択伐林に誘導する森林施業の基礎資料を収集するため
	雌阿寒山麓アカエゾマツ林分試験地	昭和40年	2.56	102 ほ	アカエゾマツ択伐施業林と原生林の生長及び更新関係を比較検討し、立地と林分構造の相関性の解明を行い、アカエゾマツ天然林施業の基礎資料を収集するため
		昭和40年	2.56	102 わ	
		昭和40年	0.11	102 か	
			1.56	102 か1	
			0.89	102 か2	
	計	2.56			
	トドマツ人工林収穫試験地	昭和38年	1.00	121 い	成長量、枯死量及び林分構造の推移を把握検討し、地域管理経営計画樹立の基礎資料を収集するため
	カラマツ人工林収穫試験地	昭和43年	1.10	231 い	成長量、枯死量及び林分構造の推移を把握検討し、地域管理経営計画樹立の基礎資料を収集するため
		昭和43年	1.16	1192 め1	
アカエゾマツ人工林収穫試験地	平成13年	1.00	1005 ろ1		
ミズナラ二次林優良材生産林分への誘導技術の確立試験地	平成8年	12.38	318 て	ミズナラ小・中径木を主とする林分を密度の違いによる林分成長量等の推移を把握し、価値生産の高い広葉樹施業方法の検討を図る	
十勝西部森林管理署					
清水カラマツ産地試験地	昭和35年	4.67	318 て	産地による造林成績の差異と諸特性を調査し、最良の遺伝子を含むものを判定するため	
十勝西部森林管理署東大雪支署					
地	カラマツ人工林収穫試験地	昭和41年	1.00	9 ろ	成長量、枯死量及び林分構造の推移を把握検討し、地域管理経営計画樹立の基礎資料を収集するため
		昭和42年	0.99	1319 い	
		昭和42年	0.93	2011 し	
	トドマツ人工林収穫試験地	昭和39年	1.00	28 い	
		昭和39年	1.00	2010 め1	
アカエゾマツ人工林収穫試験地	平成9年	1.10	2109 ろ1		
三股風害跡試験地	昭和31年	20.18	184 は	昭和29年5月及び同年9月の台風による被害の代表的風害跡地を保存し、残存木、稚幼樹、地表植物倒木の腐朽等の推移を調査して、風害二次林の成立過程等について調査するため	

(単位：ha)

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
試験地	台風15号(昭和56年)による森林被害調査試験地	昭和57年	1.35	187 は	昭和56年台風15号による被害の代表的風害跡地を保存し、残存木、稚幼樹、地表植物、倒木の腐朽等の推移を調査して、風害二次林の成立過程等について調査するため
		昭和57年	0.72	1090 は1	
			0.93	1091 い	
		計	1.65		
	昭和57年	1.23	2119 ほ5		
	森林計画区計	24箇所	68.58		
モデル林	十勝東部森林管理署				水源かん養機能を高めるため、成長衰退著しい老齢過熟木や後継樹の成長阻害している形質不良木の多い天然林を択伐の繰り返しにより、成長旺盛な天然林に誘導した森林である
	水土保全モデル林	平成12年	0.98	72 い	
	十勝西部森林管理署東大雪支署				
	水土保全モデル林	平成12年	3.66	1162 ろ	
	森林計画区計	2箇所	4.64		
森林計画区合計		56箇所	290.13		

(2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備考
十勝東部森林管理署		
1026 り1 お	ふれあいの森として (憩いの空間 水源の森)	事業主体：陸別町 協定面積：137.4ha
十勝西部森林管理署		
2115 い~に 2116 い~り	遊々の森として (カムイコタン歴舟の森)	事業主体：大樹町教育委員会 協定面積：220.17ha
十勝西部森林管理署東大雪支署		
198 り1	ふれあいの森として (ミユビゲラの森)	事業主体：十勝三股森づくり21 協定面積：7.80ha
163 い イ	遊々の森として (大雪山ふれあいの森ほろか)	事業主体：NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター 協定面積：49.76ha
森林計画区計		面積：415.13ha